

令和3年度 学校評価（プラン）

徳島県立池田支援学校

教育目標	重点目標	活動計画と評価指標		評価		学校関係者の意見	次年度に残された課題
		活動計画	評価指標	活動計画の実施状況と評価指標の達成度	総合評価(評定)		
1 児童生徒一人一人に応じた学習や生活する力の向上	<p>「小・中・高がつながる」学びの推進</p> <p>【小学部】 (1) 『からだ元気！健康学習』をテーマに「身なりを整えること」や「保健・衛生」に関する日常生活スキルを獲得する。</p> <p>【中学部】 (2) 協働して活動するために、必要なルールやマナーを知り、学校生活においてルールやマナーを守って活動することができるようになる。</p> <p>【高等部】 (3) 授業で学んだことで地域貢献活動に参加し自己肯定感を高める。</p> <p>【進路指導課】 (4) 近隣の福祉施設の仕事を体験することで、高等部卒業後の進路について関心を高める。</p> <p>人権意識を育てる児童生徒指導の充実 【人権教育課】 (5) 自尊感情を育み、学習活動への意欲が高まる教育活動を推進する。</p> <p>【特別活動・保健衛生課】 (6) 児童生徒会の一員として、一人ひとりが役割を持ち、集団の中で活躍できる機会を設定することで自尊感情を育む。</p>	<p>(1) 健康学習内容表（現在作成中）から目標を選択して指導する。内容表は「できる」「できない」「未指導」のチェック方法とし、児童全員を対象に4月中に事前評価、12月に事後評価をする。</p> <p>(2) ルールやマナーの学習を積み重ね、学習した項目について、記録したり、自己チェックできるようにする。</p> <p>(3) 地域貢献活動をすることで、褒められる経験、認められる経験、感謝される経験を受け、自分ノート（キャリアパスポート）に記録する。地域貢献活動の事前事後に生徒へのアンケートを実施する。</p> <p>(4) 福祉施設の活動内容をもとに令和2年度作成の「クッキー作り、袋詰め」「弁当盛り付け」「造花組立」の3つの教材を各学部で活用する。</p> <p>(5)-1 児童生徒の自尊感情の育成に関する研修会を企画・運営・実施する。</p> <p>(5)-2 学部ごとに児童生徒の発達段階に応じた指導目標を設定し、指導後の評価を実施する。</p> <p>(6) 地域の音楽バンドを招いて年に1回「IKESHIやまびこコンサート」を開催する中で、「楽器係」「会場係」「司会係」「盛り上げ係」など一人が1つ係を担当する。</p>	<p>(1) 事後評価において、対象児童全員について、事前評価と比較したとき「できる」が増え、かつ「未指導」が減っている。</p> <p>(2) 毎月重点項目を明確にし、自己チェックにおいて、「できた、守れた」の評価が、80%以上である。</p> <p>(3) 事前アンケートより事後アンケートで自己肯定感の向上が伺える回答が増加する。</p> <p>(4) 生徒アンケートを行い、「各福祉施設の作業内容を知ることができた。」など進路について関心の高まりを感じられる回答が7割以上となる。</p> <p>(5)-1 外部講師を招聘し、年間1回以上、人権教育研修会を実施する。</p> <p>(5)-2 教職員アンケートを実施する。指導目標を達成した児童生徒の割合が8割以上となる。</p> <p>(6) コンサート後に発達年齢に応じたアンケートを実施し、「満足した」「楽しかった」「協力できた」など肯定的な意見が8割以上となる。またコンサートを通して、一人ひとりが係や役割を担うことで児童生徒が主体的に行事運営することができるようになる。</p>				

<p>2 教職員の専門性・資質・指導力の向上</p>	<p>危機管理体制の整備、安全・安心な学校づくりの推進 【生徒指導・施設課】 (1) 実践的な研修・訓練等を通して、緊急時対応の際に教職員一人ひとりが適切かつ迅速に行動するために必要な意識・技術の向上を図る。</p> <p>専門家等と連携した授業研究及び支援方法の改善 【研究課】 (2) 事例研究や授業改善を目的とした研究協議の充実を図る。</p> <p>(3) 専門性を高める教職員研修の充実を図る。</p>	<p>(1) 児童・生徒所在不明時、不審者侵入時、災害発生時等の様々な緊急時に備えた教職員のより実践的な研修や訓練を実施する。</p> <p>(2)-1 外部専門家と連携した学校コンサルテーションを実施する。</p> <p>(2)-2 学部単位で授業改善を目的とした研究協議を実施する。</p> <p>(3)-1 徳島型メンター制を参考にした校内研修体制を構築する。</p> <p>(3)-2 各課と連携し、教職員のスキルアップを目的とした研修を企画・運営・実施する。</p>	<p>(1) 研修や訓練を、年間で合計4回以上実施し、教職員対象の事後アンケートにおいて「技術の向上が図れたか」の問いに対する肯定的な回答が8割以上となる。</p> <p>(2)-1 学校全体で2事例以上の学校コンサルテーションを実施する。実践者向けアンケートで「実践研究に取り組んで良かった」との回答が100%となる。</p> <p>(2)-2 各学部ごとに研究授業の研究協議を年間1回以上実施する。授業者向けのアンケートで「授業づくりのヒントを得た」との回答が90%以上となる。</p> <p>(3)-1 年間7回以上メンターチームでの研修を実施する。教員向けのアンケートで「実施して良かった」との回答が80%以上となる。</p> <p>(3)-2 年間7回以上のスキルアップ研修を実施する。受講者アンケートで「今後の指導にいかすことができる」との回答がすべての研修で80%以上となる。</p>				
<p>3 家庭・地域・関係機関との連携・協働をおとした学校づくり</p>	<p>地域と連携した教育活動の推進 【渉外課】 (1) 地域と連携したPTA活動の充実を図る。</p> <p>【情報教育課】 (2) GIGA スクール構想に関わる学校での取り組みについて発信し、保護者や地域住民の理解と啓発を促す。</p> <p>幼・小・中・高校等への相談・支援体制の充実 【支援教育課】 (3) 地域や関係諸機関に本校の取り組みについて発信し、特別支援教育の理解や啓発の充実を図る。</p>	<p>(1) 近隣の福祉施設等と連携し、保護者の希望を反映したPTA研修会や施設見学会を実施する。</p> <p>(2) 教職員のGIGA スクール構想に関わる取り組みの充実化を図るため、ICT活用の校内研修を行う。</p> <p>(3)-1 HPに本校巡回相談員の活動の様子、研修会の啓発や研修中の様子、学校見学の様子等を掲載する。</p> <p>(3)-2 本校児童生徒が関わる施設や放課後等デイサービスへ学校の取り組みや様子が分かるリーフレットを作成し、配布する。</p>	<p>(1) 研修について事後アンケートを行い、「地域福祉施設等の理解が深まった」との回答が8割以上とする。</p> <p>(2) GIGA スクール構想に関わる本校での取り組みを紹介した記事をホームページで6つ以上掲載する。</p> <p>(3)-1 HPに本校巡回相談員の活動の様子、研修会の告知や研修中の様子等を2か月に1回以上更新し、本校の取り組みについて発信していく。</p> <p>(3)-2 作成したリーフレットを前期に1回、後期に1回配布し、特別支援教育の理解や啓発の充実を図る。</p>				